

2016年ゴールデンウィーク期間における国際線旅客数の予想

2016年4月28日（木）から5月8日（日）ゴールデンウィーク期間中（11日間）の関西国際空港国際線旅客数予想についてお知らせします。

2016年のゴールデンウィーク期間は上記の通りで本期間中の国際線旅客数は535,100人を見込んでおります。（2015年のゴールデンウィーク期間実績（13日間）：557,570人）

1日平均の国際線旅客数は48,600人（前年比+13%）となりゴールデンウィーク期間として過去最高となる見込みです。到着旅客数は前年比+19%、出発旅客は前年比+9%を見込んでおり、出発方面は韓国、中国、台湾がトップ3となっております。

ゴールデンウィーク期間中は、保安検査場などの混雑が予想されます。時間に余裕を持って、お早めに空港へお越しください。また、期間中駐車場の混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社 について

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

会社名

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、ヴァンシ・エアポート 40%、その他の出資者 20% (*1)



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である「金融+サービス」の加速化¹、アジア等新興国の成長を取り込む²を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート)について

ヴァンシ・エアポートは、フランスで12、ポルトガルで10（リスボンのハブ空港を含む）、カンボジアで3、日本で2、ドミニカで6、そしてチリで1空港の合計34空港の開発および運営を行うグローバル企業です。

ヴァンシ・エアポートが運営する空港ネットワークの2015年の年間利用者数は1億人にのぼり、140社を超える航空会社が就航しています。2015年のヴァンシ・エアポートの年間売上高は8億2,000万ユーロ¹を記録しています。

ヴァンシ・エアポートは、深い知見と、プロフェッショナリズムあふれる世界各国の8,500名のスタッフの力を合わせ、その投資力や国際ネットワーク、既存空港のインフラ運営最適化、施設の拡充、新規建設における専門性を活かし、空港の開発、資金調達、建設、および運営を行っています。詳細につきましては、www.vinci-airports.comをご覧ください。

1 = チリ、日本、ドミニカの各空港のデータを含まず。